

輸 送 動 向 に つ い て (平 成 2 2 年 6 月 分)

平成 2 2 年 7 月

1 . 輸 送 概 況

今月は、下旬に西日本の広い範囲で大雨による輸送障害が頻発し、月全体では高速貨 21 本、専貨 2 本が運休した。

荷動きについては、景気回復に伴い輸出産業をはじめとした製造業の出荷が回復したことから、月間を通し堅調に推移した。

コンテナ貨物は、農産品・青果物、積合せ貨物が前年を下回ったものの、自動車部品、家電・情報機器などが前年を上回り、全体では前年比 105.8%となった。農産品・青果物は、21 年産の民間流通米の不作により減送となった。また、積合せ貨物は一部顧客の荷量減少により減送となった。一方、自動車部品、化学工業品などは、前年の生産調整の反動及び需要回復により増送となった。また、家電・情報機器はメーカーのモダルシフトの取組みに加え、国内及び海外の需要回復が進み増送となった。

車扱貨物は、石油、セメント・石灰石などが前年を下回り、全体では前年比 95.9%となった。石油は、燃料転換等に伴う需要減により減送となった。

2 . 輸 送 実 績

(単 位 : 千 ト ン , %)

種 別 扱 別	月 計		前 年 比	年 度 累 計		前 年 比
	本 年 実 績	前 年 実 績		本 年 実 績	前 年 実 績	
コンテナ	1,734	1,639	105.8%	5,067	4,792	105.7%
車 扱	726	757	95.9%	2,329	2,281	102.1%

3 . 品 目 別 輸 送 実 績 表

(単 位 : 千 ト ン , %)

扱 別	品 目	本 年 実 績	前 年 実 績	増 減	前 年 比
コンテナ	農 産 品 ・ 青 果 物	106	111	- 5	95.5%
	化 学 工 業 品	171	162	9	105.6%
	化 学 薬 品	126	121	5	104.1%
	食 料 工 業 品	289	289	0	100.0%
	紙 ・ パ ル プ	266	255	11	104.3%
	他 工 業 品	146	122	24	119.7%
	積 合 せ 貨 物	182	185	- 3	98.4%
	自 動 車 部 品	76	54	22	140.7%
	家 電 ・ 情 報 機 器	44	37	7	118.9%
	エ コ 関 連 物 資	30	29	1	103.4%
	そ の 他	298	274	24	108.8%
	コ ン テ ナ 計	1,734	1,639	95	105.8%
車 扱	石 油	455	478	- 23	95.3%
	セ メ ン ト ・ 石 灰 石	93	95	- 2	98.4%
	車 両	65	73	- 8	89.1%
	そ の 他	112	112	0	100.0%
		車 扱 計	726	757	- 31

(車 扱 の 品 目 別 輸 送 量 は 社 線 発 送 ト ン 数 も 含 む 数 値 、 本 年 は 速 報 値 、 前 年 は 確 報 値)